



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 財務部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

特別損失(固定資産除却損)の計上に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間において、特別損失(固定資産除却損)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(固定資産除却損)の計上

当社グループのプロジェクター用反射鏡につきましては、結晶化ガラス製から耐熱ガラス製へ需要のシフトが漸次進んでおります。

反射鏡基板生産のためのガラス溶融炉の定期炉修には多額の設備投資を要するため、需要が減少している結晶化ガラス製反射鏡を生産するためのガラス溶融炉については、今後の製品販売見込に基づいてガラス基板を備蓄した上で炉修を行わないことといたしました。

このため、平成 30 年 5 月に結晶化ガラス製基板の仕掛品在庫が備蓄計画数に達した時点で、本社工場(千葉県柏市)のガラス溶融炉 1 基の生産を停止し、特別損失(固定資産除却損)を 33 百万円計上いたしました。

現在、新潟岡本硝子株式会社のガラス溶融炉 1 基により生産している耐熱ガラス製反射鏡が主力製品となっておりますが、今後も備蓄しているガラス製基板の加工により結晶化ガラス製反射鏡の生産も続けてまいります。

2. 今後の見通し

上記の特別損失(固定資産除却損)の計上については、本日開示の「平成 31 年 3 月期第 1 四半期決算短信」に反映しております。

以 上